



夢風

YUMEKAZE

第134号（令和3年度 No.6）



みなさん、夢風ようこそ。

令和4年がスタートしました。本年も夢風をよろしくお願ひします。

新型コロナウイルスの感染者数が再び増加しています。今以上に感染拡大防止に努めながら、学校行事や授業を進めていきます。



「夢風」は Web ページでも発信しています。 <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



ニュース

News



● プランの日（1・2年生）

12月3日（金）「プランの日」では、2年生とプラン選択を終えた1年生がプランごとに分かれて活動を行いました。それぞれの講座で外部施設を訪れたり、外部講師による講演会を開催したりと、普段の授業とは異なるアプローチで専門的な内容を学ぶ機会となりました。

1年生からは「2年生は専門的な知識量が豊富で驚いた。学んだ知識を応用できるようになりたい。」といった声が上がリ、上級生と行動を共にすることで、来年度から始まる専門的な学習に対する意欲が高まったようです。また、2年生からは「同じプラン同士学年を超えて意見を共有し合うことができた。」などの感想があり、学年を超えたプランの結束を強くする機会となりました。

一部ですが生徒の感想を紹介します。「貿易ゲームを通じて、経済の分野を視野に入れて進路を考えていきたいと思った。」「文プランらしく慣用語やテーマ、字数制限がある中でリレー小説を作ることは楽しかった。」（文プラン）、「まず手を動かす行動をして、数学の法則を見つけるようにしたい。」（理プラン）、「患者さんが闘病でつらい思いをしている時の看護師の存在は大きいと感じた。」（看護プラン）、「英語でディスカッションをするとき、相手に伝えようとする気持ちが大事だと分かった。」（外国語プラン）、「チャイルドビジョン（模擬体験メガネ）をつけて子どもの視野の狭さを体験した。子どもの目線に立って接することが大切だと分かった。」（保育プラン）、「食品に関わる仕事にも種類があり、自分がどのような形で食に携わりたいのか視野を広げて考え直すことができた。」（調理・栄養プラン）、「1年生にベッドメイキングを指導してみて自分たちが教わったようにポイントを伝えていくのは難しいと感じた。」（福祉・健康プラン）、「ファッション業界もデジタル化が進み、自分の考え方次第でやれることが広がるということを学んだ。」（服飾プラン）、「『あいさつは人より先に』という言葉聞いて、恥ずかしがらずに積極的にやっていきたいと思った。」（ビジネスプラン）、「美術を誰かと一緒に見て話し、深めることの楽しさや面白さを学んだ。」（美術プラン）、「2年生が一から発表会を作るのは心配なこともあったが、なんとかうまく進めることができてよかった。」（音楽プラン）。



文プラン



看護プラン



福祉・健康プラン

● 産学連携「どんぐりの里いなぶとの商品開発」（3年調理・栄養プラン、ビジネスプラン）

今年度も産学連携として、3年調理・栄養プランの生徒が「株式会社どんぐりの里いなぶ」と共同で商品開発を行い、10月29日（金）本校で発表会を行いました。今年度は、ジビエと米粉入りパンを掛け合わせて考案された「ジビエと米粉入りパン」と「ジビエソースかつバーガー」の2種類が商品化されました。商品を考案した生徒から「鹿肉の硬さや臭みが気にならず、多くの人に楽しんでもらえる商品になった」や「通常のエピとは違い、鹿肉のソースを使用することで食べ応えのあるものになった。」など、商品のアピールポイントが説明されました。また、包装に貼るシールを、同じく3年ビジネスプランの生徒が担当しました。

商品は10月30日（土）から「道の駅どんぐりの里いなぶ」の「どんぐり横丁」で販売され、11月6日（土）には生徒が現地へ赴き、販売実習を行いました。11時から販売が開始され、1時間程度で用意していた商品が完売するなど大盛況でした。



● とよた元気まつりボランティア（JRC部、吹奏楽部、2年保育プラン）

12月4日（土）豊田市の白浜公園（豊田大橋下）で「とよた元気まつり～舞い上がれ豊田の元気魂～」が行われ、吹奏楽部、JRC部、2年保育プランの生徒がボランティアとして参加しました。このイベントは、新型コロナウイルスの終息と豊田市の活性化を願う目的で地元のさまざまな団体が協賛し、企画されました。

強い風が吹く寒空の下、オープニングでは吹奏楽部による演奏が行われ、素敵な音色がイベントを活気づけてくれました。JRC部は来場者の検温や誘導を担当し、保育プランは来場した子どもたちの遊びの補助や遊具の説明などを行いました。このイベントへの参加を通して、生徒たちは、一つの大きな企画を運営するためには、大勢の人たちの協力が不可欠であることを肌で感じ、自分たちがその一人として役に立っていることにやりがいを感じていました。多くの学びを得ることができ、とても有意義な時間となりました。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



UNESCO Associated Schools

豊田東高校は、ユネスコスクールに加盟し、

ESD（持続可能な開発のための教育）を推進しています。